

木葉小便り

令和4年7月6日(水)発行
文責 校長 吉野 新吾



大きなひまわりが咲きました

子供と教師のみんなで授業をつくる

本年度の研究テーマ「自分の考えを持ち、表現する力を育てる国語科の授業の創造」実現のために、6月24日(金)研究授業(3年2組:増淵教諭)を行いました。本校職員みんなで考えた授業を外部の眼を通して指導してもらえるように、築山小の高山裕子教諭(県指導力向上アドバイザー)を招きました。

増淵教諭は、一人一人が「できた!」という達成感を味わえるように、細やかな工夫を施した授業を行いました。おかげで、全員が「日本のこまをしょうかいする文」を完成させ、笑顔が見られました。高山アドバイザーからも細やかな授業づくりを評価していただきました。また、指導していただいたことは、毎日の授業づくりに全学級で生かしていきます。

「居場所のある授業づくり」のストーリーを全職員で共有していきます。



自信に満ちた挙手、挙手、挙手

学び合い

9月30日は、「英検の日」

週2日(木、金)はALTのヴァレリア先生、週1回(木)は英語専科の北村先生が英語の指導に来校しています。

5・6年生は、北村先生、ヴァレリア先生の2人体制で英語の授業を、1~4年生は、ヴァレリア先生と担任の2人体制で外国語活動を、本当に楽しそうに行うことができます。



他の市町と比べても、玉東町の子供たちは、恵まれた環境の中で英語の学習を進めることができていると思います。

その学習の成果を測るために、本年度から町の補助で玉東町の5・6年生は、英語検定にチャレンジすることとなりました。9月30日を「英検の日」として取組を進めていきます。

楽しく学びながら、英語の力も伸ばしていきます。



英語専科・ALTと学ぶ(5年)



楽しく学ぶ外国語活動(3年2組)

将来、自分で生きていける力を!

小さな苗にも水を与え過ぎると、恵まれすぎて自分で根を張り水分を吸収する努力を苗が怠り、しっかりと根を張らず、立派な花には育ちません。このことは子育てにも言えることだと思います。

徳川家康は幼少のころ、今川義元の人質になりました。義元は家臣に「この子におごい教育をしてやれ」と言いました。家臣が「おごい教育とはどんなことをするのですか」と聞くと

「朝から晩までうまいものを食わせ、冬は暖かくして、夏は涼しく、何不自由なく物を与える事だ。そうすれば、たいていの人間はだめになる。」

と言ったそうです。

上の資料は、ある先輩校長先生の「学校便り」から頂いたものです。子育てには、**優しさと厳しさのバランス**が必要です。



徳川家康